

1 書類審査

項目	項番	評価要素	小項番	提案要求項目
事業者に関する事項	1	セキュリティ方針	1	個人情報保護等セキュリティ確保に対する方針が妥当であり、かつ、明確に提示されている。ISMS、プライバシーマークなどセキュリティ確保に関する公的資格等を有している。公的資格等に沿った運用を行うために、社員個人が具体的に実施している事項が具体的に提示されている。
	2	品質確保方針	2	品質確保に対する方針が妥当であり、かつ、明確に提示されている。ISOなど、品質保証に関する公的資格等を有している。公的資格等に沿った運用を行うために、社員個人が具体的に実施している事項が具体的に提示されている。
	3	システム導入実績	3	中核市(同等)規模以上の自治体における保健衛生システム導入実績(構築中も含む)が提示されている(自治体名、人口、導入時期、パッケージ導入形態(統合パッケージ導入またはマルチベンダ環境での個別導入)、設備導入形態(自庁導入、共同化またはクラウド導入))。
業務遂行に関する事項	4	業務遂行のための体制	4	プロジェクト管理(進捗、品質、要員、課題、リスク等)、設計・開発手法、検討手順、品質管理及びセキュリティ管理等に対する考え方、役割分担(本市(担当課及び情報企画課及び貴者)が具体的に提示されている。本市職員の負担を軽減するための提案が具体的に提示されている。
			5	本業務は関係する課が多数あることも考慮し、スケジュール遅延解消、品質確保及び情報共有について、現実的な対応策、考え方、手法及びツール等が具体的に提示されている。
			6	プロジェクト責任者、プロジェクトマネージャ、プロジェクトリーダー及び技術者について具体的に提示されている。他の受け持ち業務について具体的に提示されている。また、専任か兼務かが提示され、かつ、兼務の場合はどのくらい本業務に従事できるかが提示されている。 ・氏名 ・所属 ・勤務年数 ・業務経験 ・契約期間中における他案件従事の有無 ・保健衛生系システム構築及び運用の経験の有無(具体的に)
	5	スケジュール	7	プロジェクトの状態を客観的に把握し、指導するために貴者が用意するPMO(プロジェクトマネジメントオフィス)や、緊急事態発生に備えたプロジェクトサポート要員、フォロー体制について、具体的に提示されている。また、これらの要員を機動的に割り当てることができる権限者が明確であることが提示されている。
			8	仕様書に記載された運用開始時期の遵守に必要な作業項目、期間並びにそのスケジュール、マイルストーン設定が具体的に提示されている。役割分担が示されており、本市の負担軽減を考慮した妥当なスケジュールが提示されている。作業項目の重み付け、マイルストーン設置など道標の明記及び次工程へ進むための本市への判定会議の開催など進捗遅延の解消と品質向上のための具体的な方策が提示されている(なお、本業務は関係する課が多数あるため、会議が多くなりすぎることにより、進捗の遅れとならないような工夫がなされたスケジュールとすること)。進捗や懸案事項、リスクの管理方法について具体的に提示されている(進捗の遅延期間に応じた対応策などを示す)。
			9	実施する会議体、役割、出席者について具体的に提示されている。また、双方の齟齬をなくし、円滑なコミュニケーションを図るための具体的手段、ツールが具体的に提示されている。実施計画書で提示した全体スケジュールを変更した場合、会議の際に変更前のスケジュールもあわせて提示するなど、当初立てた計画との差異を意識した会議運営方法が具体的に提示されている。
7	提案にあたっての基本的な考え方	10	本市は、クラウドによるサービス利用型の形態(貴者が用意するデータセンターに貴者が用意するサーバ機器等を設置し、本市が回線を介してサービス提供を受ける形態。回線はLGWANを利用し、サービス利用料として毎月一定額を支払う。制度改正やバージョンアップ費用もサービス利用料に含む。)を考えている。その形態を踏まえ、提案にあたっての基本的な考え方(提案理由・意義)が簡単に整理されて提示されている。	
		11	APPLICの地域情報プラットフォームに準拠した共通基盤システムを介して他の住民情報システム等とデータ連携を行う方針である。その方針を理解した基本方針が提示されている。	
		12	県や本市の独自制度のシステム化についての考え方が提示されている。特に県独自の制度(保健医療制度等)に対するバージョンアップ方法については具体的に提示されている。	
		13	今後予定されている保健医療分野の法制度改正等、対象となるシステムを取り巻く環境について提示されている。後発で今回構築する新保健衛生システムを利用したい自治体があった場合、カスタマイズやアドオンなどの開発費等のインシャルコストの削減方法及び回線費用等のランニングコストの削減方法等本市のメリットや課題が具体的に提示されている。	
8	設計基本方針	14	業務仕様書に示す性能要件やその他設定したSLAの遵守、BCPの確保のための運用設計項目案(運用可能なバッチ処理時間の提示やバックアップ時間提示など)を含めた設計基本方針が具体的に提示されている。設計時に模擬環境を作ったテストにより、設計基本方針を確認する方策が具体的に提示されている。	
導入に関する事項	9	安定性/信頼性	15	保健衛生システムの安定性および信頼性の考え方が具体的に提示されている。システムの安定稼働、信頼性を実現するための手法、システム上の考慮点等について具体的かつ定量的に提示されている。
			16	システムへのアクセスや、システム間連携が多数発生する繁忙期、時間帯の安定性確保のための設計、方策について、構築実績や運用実績を生かし具体的に提示されている。
	10	性能/高速性	17	システム利用者がストレスなく利用できるようシステム性能及び高速性(特にデータセンタ利用を行うため、ネットワークを介したアクセスに対するレスポンスも含む)の向上や維持のための考え方が具体的に提示されている。
			18	データバックアップについてオンライン稼働に支障をきたさない時間帯で、可能な限り短時間で行うことが具体的に提示されている。
	11	操作性	19	システムの操作性およびユーザインタフェースの考え方が具体的に提案がなされている。
			20	専門知識等を必要としない優れた操作性およびユーザインタフェースが具体的に提示されている。
	12	保守性/拡張性/柔軟性	21	パッケージシステムとしての業務追加、OSのバージョンアップなどシステムの柔軟性、拡張性の実現を考慮した有効な提案が具体的に提示されている。
			22	標準的な技術を用いてシステムの維持管理が容易に行えることが具体的に提示されている。
	13	安全性	23	個人情報保護に関する考え方や保護策、物理的、技術的な面からのセキュリティ上の脅威と対策など、多面的に十分な対策が具体的に提示されている。
			24	システムダウン時の早期回復を考慮した業務継続性の高いシステム構成が具体的に提示されている。
	14	経済性	25	アドオン機能や運用を提案するなどノンカスタマイズによる経済的なシステム構築、導入に対する具体的な提案が提示されている。システム設計時、開発時、導入時及び運用時に関する経費削減への具体的な提案が提示されている。
			26	長期的な運用に耐え、維持管理が低廉となるようOS等がバージョンアップしてもモドルウェア等で対処できるなど、10年以上継続して利用できるシステム設計方針とし、ライフサイクルコストを考慮した設計及び開発について具体的に提示されている。
	15	データセットアップ	27	データセットアップに関して、データセットアップの概要、データセットアップツール及び既存ベンダとの役割分担が具体的に提示されている。
			28	データセットアップに関して貴者が既存ベンダと個別に調整し、かつ、提供されたデータを保健衛生システムへ取り込むためのデータの加工、修正及び生成に係ることを貴者が行うものとするが具体的に提示されている。
			29	移行されたデータ項目の整合性確認について具体的に提示されている。整合性確認で差異があった場合、その解決方法について具体的に提示されている。
	16	他システム連携	30	保健衛生システムと他システムとの相互連携についての認識が具体的に提示されている。連携項目に差異があった場合、調整する方法について具体的に提示されている。
			31	連携データの文字コードの差異に対する対処方法や文字フォント(字形)が異なる場合の同定作業について具体的に提示されている。
17	テスト	32	本格稼働開始までに利用者による十分なテストができるよう、具体的な作業項目、妥当なスケジュールが提案されている。(何をもちてテストが終了と本市が判断できるかを明示すること。) 本稼働までの問題点、課題の洗い出しが行われ、具体的な利用者側のテスト方法、作業項目が提示されている。本市職員の負担が少なく、かつ年間のスケジュールを網羅できるような効果的なテスト方法等が提示されている。単体テスト、結合テスト、1年間のサイクルを意識した総合テストを行なうことが具体的に提示されている。テストにおけるエビデンス(証跡)等を保管し、本市職員がテスト結果の確認を容易に行なえる提案が提示されている。本市のテストと貴者のテストにダブルなく、効率的に、かつ、最大限の効果が得られるよう提案が提示されている。	
		33	各テストフェーズにおけるエラーを抽出する具体的な手段及び数値的目標を設定するなど品質管理目標等が具体的に提示されている。レスポンスタイム(オンラインで2~3秒以内)を意識したテスト方法が具体的に提示されている。	
運用/保守	18	運用基本方針	34	業務継続性の観点も踏まえ、運用における考え方や課題が整理され、実現方法が具体的に提示されている。バッチ処理(日次・月次・年次)、障害対応(一次受付)など稼働後の運用について役割分担が項目ごと具体的に提示されている。新保健衛生システムで生成されるデータやシステムデータのバックアップしたデータの保管方法(例:媒体を遠隔地に運搬する保管方法、ネットワークを利用しデータ転送による保管方法とその保管頻度等)が具体的に提示されている。なお、費用については、提案の範囲、又は、オプションによる提案の範囲外であることが提示されていること。
			35	運用管理・監視等を行う端末を他業務端末と共用するなど経済性等を考慮した運用保守に関する提案が具体的に提示されている。Webアプリケーションシステム等を採用するなど、端末機器は貴者が機器指定することがないよう配慮がなされ、具体的なスペックなどが提示されている。

項目	項番	評価要素	小項番	提案要求項目
			36	運用に係わるSLA例(項目案等)が適切に設定されている。
			37	運用開始後の制度改正対応についての考え方、検討点及びそうした場合の実績などが提示されている。
	19	運用体制及び保守体制	38	障害対応時の連絡窓口の統一など、具体的な連絡・対応フローや、本市との役割分担を含めスムーズな連携ができる体制が具体的に提示されている。また、障害発生時の対策、課題が明確となっており、具体的な回避策、解決策が提示されている。
			39	安定稼働のための保守体制、システム維持及び保守作業内容について具体的に提示されている。
	20	運用支援	40	システムの機能やサービスレベル等の改善の必要性を検討するための組織の考え方が整理して提示されている。
			41	改善要望を収集し、収集した改善要望の必要性を精査する体制の考え方が整理して提示されている。
			42	貴者との役割分担について等、運用支援内容が何を、どのレベルまで行うのか具体的に提示されている。システム操作方法に関するQ&A対応について具体的に提示されている。EUCを活用し、統計資料等を本市職員が容易に作成できる対応策が具体的に提示されている。
			43	本システムの更改時における、データ抽出を行うことについて、具体的に提示されている。本市の求めに応じ円滑なシステム移行を目的とした次期システム更改業者等との打合せ(数回程度)の参加等が具体的に提示されている。
			44	その他運用支援や運用経費削減に向けた提案が有効的、かつ、具体的に提示されている。
	21	職員の運用管理業務	45	職員が担当する運用管理業務と保健衛生システムの貴者が担当する運用管理業務の考え方が提示されている。また、作業項目を具体的に提示し、職員の負荷軽減を考慮した役割分担が提示されている。
	22	研修等	46	職員の研修の具体的な実施内容(スケジュール、カリキュラム、実施手段)が簡素にまとめて提示されている。また、運用者や利用者の状況に応じ、短時間で効率的に操作方法等をマスターできる研修方法等が提示されている。システム導入時のみならず、職員の操作習熟のための継続的な研修の実施が提示されている。
	その他	23	納品	47
24		費用根拠	48	開発費等の算出根拠が具体的かつ詳細に提示されている。サービス利用料について、必要な項目ごとの算出根拠が具体的かつ詳細に提示されている。データ遠隔地保管等のその他オプションの経費がある場合も同様に算出根拠が具体的かつ詳細に提示されている。なお、初年度及び初回立会いにかかる運用支援にかかる費用がある場合は、その金額も提示し、かつ、項目及び内容が具体的に提示されている(例:作業項目、立会い頻度、打合せ回数、それにかかるSE人数等)。
25		機器設置についての提案	49	サーバ等を設置するデータセンター等について、比較・検討された項目が具体的に提示されている。以下はその例。 ・データセンターの設置場所の特徴(災害に強い地形等) ・安定性/信頼性(耐震性、空調、防火・消火設備、停電対策等) ・操作性(レスポンスの確保等) ・安全性(入退室管理(受付・認証)及び監視状況、故障監視、セキュリティ等) ・経済性(イニシャルコスト・ランニングコスト等) ・運用及び保守における考え方 ・その他、地震や津波等の天災に対し特に実施している対策等 ・その他貴者が必要と思われる項目
			50	LGWANを利用し、サービス提供を受ける場合の接続回線等の基本的な考え方について、以下の項目が定量的根拠をもとに検討され具体的に提示されている。 ・貴者データセンターから県ノード間のネットワーク構成 ・安定性/信頼性(稼働率、冗長構成等) ・回線性能、高速性(速度、帯域保証) ・J-LIS等関係団体への手続き方法
			51	その他保健衛生システムの導入にあたり、有効な企画提案について具体的に提示されている(ただし、今回の費用に含むものに限る。)
26		市内産業への貢献の提案	52	今回の提示金額以外でも有効的、かつ、将来経費削減が見込まれるその他の提案について具体的に提示されている。
	53		本システムの導入、運用を通じ、市内情報産業への貢献又は発展すると想定される内容について具体的に提示されている。	

2 機能要件評価点

項目	項番	評価要素	小項番	提案要求項目
機能要件	27	機能要件	—	「機能要件確認表」の結果のとおりとする。

3 価格評価点

項目	項番	評価要素	小項番	提案要求項目
提案金額	28	提案金額	—	提案金額に応じて加点する。